

私たちのまちづくり

第9号 平成27年3月

発行責任者 下川 照雄
広報活動部会編集

平成26年度事業報告

月	日	会場・場所	事業名
4月	8日	西区役所会議室	西区地域コミュニティ協議会 会長・事務局長会議
	20日	西川遊歩道	桜をみながら 「てくてくウォーキング」 参加者 161名
5月	24日	坂井輪小学校 グラウンド	自転車安全教室（3年生児童 対象） 1年生の交通安全指導
7月	11日	大畑幹線 坂井輪小学校前	平成26年度交通量調査 午前7時～9時までの2時間
	16日	坂井輪コミュニティ センター (2階)	当協議会平成26年度定期総 会終了後「特色ある区づくり 事業について」説明
8月	3日	小・中学校の 路	西区一斉クリーンデー 児童・生徒の通学路の清掃 と安全確認
10月	5日	坂井輪小学校 体育館及び グラウンド	地域合同防災訓練・消火器 の取り扱い・応急手当・心 臓蘇生訓練 講演「校区における地震・ 津波・液状化について」 新大教授 卜部厚志准教授
11月	9日	小新中学校 ランチルーム	健全育成講演会 「新潟お笑い集団NAMARA」
平成 27年 1月	25日	坂井輪小学校 体育館	地域ふれあいチャリティ餅 つき大会 (西区社会福祉協議会・歳 末助け合い事業)
3月		広報紙「私たちのまちづくり」第9号発行	全校区全 世帯に配付

まず第一に、挨拶のしやすい地域づくりを呼びかけたい。これは、人間関係の基本であり、防犯の上でも役立つと考えます。第二に、向こう三

軒両隣り仲良くしましょうと云う事です。大きな災害時は公の手は足りません。自治会の役員だけでも助けられませんか。この時は隣近所が一番助けになります。そのためには日頃から仲良くしておきましょう。第三には、放火防犯パトロールの実施を考えています。戸締り火の用心等のためです。

西区は無施設の家が多いそうです。つまり自助・共助・公助の考え方を広めたいのです。これが安心安全なまちづくりに寄与するはずです。ご協力をお願い致します。最後に季節の変わり目ですので、体調管理には充分お気を付け下さい。



坂井輪小・小新中学校区
まちづくり協議会会長 下川 照雄

みんなで作る安心安全なまち

第9回

まちづくり協議会
定期総会開催

定期総会は、七月十六日に坂井輪コミュニティセンターで開催された。

来賓として西区長の眞島幸平氏、副区長の笠原明夢氏をお迎えし、有意義な総会であった。

笠原副区長からは「特色ある区づくり事業について」のお話をうかがい大変参加者は共鳴させられた。

また、任務満了に伴う役員改選が行われ、新会長に下川昭雄、副会長に福島富、村山今朝男氏がそれぞれ選出をされた。



坂井輪小学校区自主防災訓練600余名参加

坂井輪小学校区自主防災会加盟の二十六自治会から約六〇〇余名の参加者が坂井輪小学校体育館に、十月五日に集まり実施された。

今年度は新会長の山口紀久雄氏の提案で、各自治会で情報伝達・避難・情報収



集訓練を終了してから、坂井輪小学校に集合をし実施するということであった。事前に各自治会がいかにか話し合い検討し周知するかという課題が生まれた。

訓練も必要最低限のものにし、講演に重点が行われ、



炊き出し訓練は中止した。

講演は、新潟大学准教授の卜部厚志氏より「校区における地震・津波・液状化について」の貴重なお話をうかがい、この私達の住んでいる地域が科学的に災害を考える必要があることを理解させられた。その資料は各自治会長のもとに配布されている。



小新中学校 修学旅行短歌抄

東大寺の灯笼にふる雨音のわずかな響きわれにとどけり

池田 花菜

あぶりもち雨降る中を食べたくて店たずねゆく京の街並み

佐藤 拓哉

薬師寺の雨にうたれる東塔はまるで大きな雨傘に見えた

鈴木 晴海

大阪城白く光れる天守閣秀吉のごとわれをみつめる

後藤 大弥

龍安寺に濡れゆく石庭の石に繁れる葉の落ちるなり

齋藤 夏海

鹿群れるその真中に餌まけば奈良公園のわれは王様

澤栗 混弥

二年坂雨に濡れたる足重き松葉杖の友励まし歩く

板垣 雄大

錦市場にずらりと並ぶ京野菜のにおいただよう中に立ちおり

久保 沙采

大仏の柱の穴を苦しくも通り抜けきて歓声もらう

熊木 彩乃

映画村セットの町は今はなき明治の鼓動伝えてやまず

西島 有貴

健全育成講演会

十一月九日(日)に、まちづくり

協議会と健全育成部の共催で、講師

に「新潟お笑い集団、NAMAR

A」を迎えて「みんなで地域をもつ

と元気にしよう」についてお話をうかがい、講演終了後、グループに分かれディスカッションを実施した。

楽しく、笑いあり、考えさせられることがありで地域の方からも大変

良かったとの喜びをいただきました。

地域のふれ愛活動

まちづくり協議会 自治会長会議

まちづくり協議会と自主防災会の合同会合が、十一月二十八日に一富会館で行われた。

東部自治連合が解散した後、今まで参加していた自治会と新しい自治会を統合し



た会を持つべく、初めて会合を全自治会長の参加をお願いし開催した。議題は①まちづくり協議会とは②防災訓練の反省③第2次「いきいき西区ささえあいプラン」について説明が行われた。

今後、このような自治会長会議を二回ほど開催します。

坂井輪小・小新中学校区 「新年の集い」

平成二十七年度の「新年の集い」が一月二十三日に一富会館で「地域情報交換会」の終了後開催された。

会には、市議会議員、眞島区長、小中学校長等の来賓の出席をいただき盛大に行われた。参加者は87名。

なお長い間大変お世話になりました田村清市議会議員が退任されることになりました。ここに深く感謝申し上げます。

三年生 自転車安全教室

五月二十四日に、坂井輪小学校のグラウンドにおいて、三年生の児童を対象に自転車安全教室が実施された。

西区役所総務課安心安全係担当者の指導で行われた。三年生は、緊張の中にも正しい自転車の乗り方を学び、交通事故を起こさないルールを熱心に勉強をしていた。



地域を守る 「ウエスタンくん」

新潟西署のキャラクター「ウエスタンくん」が、十二月二日篠田昭市長から西区の「安全守りたい長」に委嘱された。今後、区役所が行う防犯や交通安全などの活動に参加し、広報活動の向上に一役を買う。



地域ふれあい餅つき大会

二月十五日付け「市報にいがた」で紹介された「地域ふれあい餅つき大会」が、一月二十五日に坂井輪小学校で開かれた。参加者は二百余名で、留学生も八名ほど参加し、児童と一緒に餅つきやゲームなどで楽しく交流を行った。

また、毎年行っている「チャリティ募金」には、一万二千七百八十五円が集まり、「交通遺児育成募金」に寄附された。

朗報 受賞おめでとう 「ございいます」



平成二十六年十月一日に、青池フジ子さんが多年の保護司として、罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力された功績が顕著であったことにより法務大臣より表彰を受けました。



「子ども110番の家」について

概 要	児童・生徒等の社会的弱者を対象とするつきまとい・声かけ・痴漢・誘拐等の未然防止と安全確保を図るため、一定の条件の下で地域住民の家等を緊急時の避難場所である「子ども110番の家」として運用しているものである。
運用開始	平成9年7月から
設置数	県下で28,235 (平成24年12月末現在)
目的	児童・生徒等の社会的弱者を狙った通り魔的犯罪が多発したことを背景に、緊急時の避難場所を確保する目的で運用が開始された。
設置主体	警察 (但し、学校・教育委員会が主体となっている地区については、警察は支援、補助活動を行う。)
設置場所	「子ども110番の家」として設置される場所は ○ 比較的留守がちな家(コンビニ、理髪店、ガソリンスタンド、商店等) ○ 通学路、子供の遊び場に近いか ○ 子ども110番の家のマークを玄関や店先に目立つように掲出できる家等の条件を満たし、設置目的に賛同するもの。
表示板	県内共通のデザインで、白色塩化ビニール樹脂製のもの。 (当初、大きさを横8cm、縦30cmの統一規格としていたが、その後、大きさの規格を廃止。)
設置要領	設置にあたり、市町村、教育委員会、学校、PTAに働き掛け、各地区の学校・自治会・青少年育成会等と連携し、地域住民の協力を得て避難所を確保する。
運用要領	○ 表示板を扉等の見やすい箇所に掲出してもらおう。 ○ 設置される家の家人に、緊急時の110番による通報方法及び事後措置等を教示する。 ○ 地域全体に児童・生徒を守る気運の醸成及び避難所の設置広報等の徹底を図る。

「子ども110番の家」の存在です。小学生、中学生のみならず、身身の危険や不安、怖さを感じた時に直ちに駆け込み救助を求められる緊急避難場所「子ども110番の家」の存在を知っているのかどうかを平成二十四年度の地図で調べてみました。七十九軒が登録されていますが、今現在、廃業や移転など

存在しない場所がありました。今回新たに「子ども110番の家」の地図を作りたく、下川会長、渡辺防犯部会長、私の三人で西警察署生活安全課の鈴木係長と面談し「110番の家」に登録するための設置基準の確認に行きました。鈴木係長の話では、平成九年以降今までに実績的なものの報告はないとのことでした。また、警察も「110番の家」に関して積極的な行動も見受けられません。設置基準については別紙参照。

そこで「子ども110番の家」の存在です。小学生、中学生のみならず、身身の危険や不安、怖さを感じた時に直ちに駆け込み救助を求められる緊急避難場所「子ども110番の家」の存在を知っているのかどうかを平成二十四年度の地図で調べてみました。七十九軒が登録されていますが、今現在、廃業や移転など

上記の通り、拍子抜けしたような感じになりましたが、このままでは「110番の家」の意味がないので、警察と「まちづくり協議会」が主体となって、児童や大人も含めた弱者を対象とした「安全、安心110番の家」的な緊急避難場所を坂井輪小学区内に作ってはいかがでしょうか。

子ども110番の家
交通安全活動部会長 天渡 成佳

存在しない場所がありました。今回新たに「子ども110番の家」の地図を作りたく、下川会長、渡辺防犯部会長、私の三人で西警察署生活安全課の鈴木係長と面談し「110番の家」に登録するための設置基準の確認に行きました。鈴木係長の話では、平成九年以降今までに実績的なものの報告はないとのことでした。また、警察も「110番の家」に関して積極的な行動も見受けられません。設置基準については別紙参照。

編集後記

なで協力しましょう。自助・共助・公助の考え方である(ま)まちづくり協議会も今年で10周年を迎える。新会長の三つの提案を皆ん

平成25年度収支決算

1. 収入の部 単位:円	
項目	決算額
繰越金	399,953
地域活動補助金	245,900
運営助成金	200,000
古紙回収地域活動支援金	262,950
歳末助け合い・地域ふれあい事業助成金	30,000
預金利息	62
合計	1,138,865

2. 支出の部 単位:円	
項目	決算額
総務費	51,000
事業費	597,198
内	
防災活動部費	100,000
環境美化・環境保全部費	35,486
文化・スポーツ部費	117,600
交通安全部費	67,700
福祉活動部費	221,132
青少年育成部費	55,280
賃金	50,000
事務費	14,868
印刷費	140,800
食料費	74,810
郵便料	27,600
交通費	3,480
予備費	0
合計	959,756

平成26年度収支予算書

1. 収入の部 単位:円	
項目	本年度予算額
繰越金	179,109
新潟市地域活動補助金	217,000
運営補助金	200,000
古紙回収地域活動支援金	260,000
歳末助け合い事業助成金	100,000
預金利息	100
合計	956,209

2. 支出の部 単位:円	
項目	本年度予算額
総務費	40,000
事業費	468,000
内	
防災活動部費	30,000
環境美化・環境保全部費	30,000
文化・スポーツ部費	118,000
交通安全部費	70,000
福祉活動部費	120,000
青少年育成部費	100,000
賃金	50,000
事務費	20,000
印刷費	145,000
食料費	70,000
郵便料	20,000
交通費	10,000
予備費	133,209
合計	956,209

皆さん 参加してね

平成27年度行事・活動予定 (4月~28年3月)

月日	行事名	会場
4 中旬	西川桜左岸にぼんぼり設置	西川左岸
19日	「てくてくウォーキング」	西川遊歩道
6 初旬	自転車安全教室 (3年生児童対象)	坂井輪小学校グラウンド
下旬	大堀幹線沿い花壇に花の植栽作業	大堀幹線沿い
7 上旬	平成27年度交通量調査	大堀幹線坂井輪小学校
中旬	平成27年度定期総会終了後区政懇談会を開催	小新中学校ランチルーム
8 上旬	西区一斉クリーンデー	小・中学校の通学路
10 初旬	地域合同防災訓練	坂井輪小学校
11 中旬	健全育成講演会	小新中学校ランチルーム
28年1 24日	「地域ふれあい餅つき大会」	坂井輪小学校
3	広報誌『私たちのまちづくり』第10号発行	学校区全世帯に配布